

羽生市 自治会連合会だより

第19号

第19号 令和5年2月15日発行
 発行責任者 羽生市自治会連合会
 会長 長谷川 光男
 総世帯数 23,802 世帯
 自治会加入世帯数 16,762 世帯
 加入率 70.4%
 (令和4年4月1日現在)



令和4年11月17日(木)
 視察研修会(山梨県富士山科学研究所)

これからの自治会



羽生市自治会連合会
 会長 長谷川 光男

新年明けましておめでとうございます。
 皆さまには、平素より自治会活動にご支援・ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症がなかなか収束せず、一年に続き、自治会活動も制限される年となりましたが、現在国でも各種活動制限を緩和しつつあり、今後自治会活動が徐々に再開されることを願っております。

自治会連合会も発足して十年となりましたが、各自治会の役員の皆さまにも高齢化の波が押し寄せております。

防災・防犯・高齢者や子どもの見守りなど、自治会活動の重要性がますます高まる中、これからは若い世代の皆さまが中心となり、市民の誰もが「羽生市に住んで良かった」と思える街づくり実現のため、皆さまの自治会活動への積極的なご参加をお願いいたします。

本年も昨年同様、地域の皆さまのご指導・ご鞭撻いただき、自治会活動にご理解・ご協力・ご参加をいただきますようお願い申し上げます。



羽生市イメージキャラクター「ムシネもん」

「明るい一年に」



羽生市長
河田晃明

明けましておめでとございます。
日ごろより、羽生市自治会連合会の皆さまには、市政全般にわたり多大なるご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大は、人と人との接触を制限し、地域力・共助力の低下が懸念されており、自治会など地域団体による活動は、住民の親睦・交流や防犯防災、安全安心な環境づくりなどに大変重要な役割を果たしております。

そして、ようやく「3年ぶりの開催」という言葉と共に、各種行事や活動が、再開されつつあります。

市でも本年は、徐々にイベント等を再開し、ぜひとも明るい一年にしたいと考えておりますので、引き続き皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、羽生市自治会連合会のみならず、皆さまの健康・ご活躍を祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

「コロナに負けない！
住み続けたいまち・羽生」



羽生市議会議員
斎藤 隆

明けましておめでとございます。
羽生市自治会連合会の皆さまには、日ごろから、羽生市の発展のために、特段のご尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

市議会では、感染症が減少した昨年秋に、長崎県や福島県内をはじめ多くの市議会から行政視察の受け入れを行いました。羽生市が先進事例としている「羽生チャレンジファーム・観光農園」「MALL DESIGN・商店街支援」が主なものでした。

このような先進的な取り組みの成果は、多方面にわたりご協力いただいている自治会連合会の皆さまのおかげでございます。

市議会といたしましては、今後も皆さまと連携協力を図りながら、コロナに負けない住み続けたいまちに発展できるように尽力してまいります。

結びに、羽生市自治会連合会の限りなくご発展と会員皆さまのご健康を祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

自治会連合会の視察研修会について
愛宕町自治会長 高橋 壮一

令和4年11月17日(木)に74地区の自治会長を対象とした視察研修会がコロナ対策を行いながら、開催されました。

視察研修先は、山梨県富士吉田市にある山梨県富士山科学研究所を訪れました。科学研究所の石峯康浩様を講師に「富士山の噴火と関東地方への影響」についてご講演いただきました。

富士山は、これまで数多くの噴火を繰り返してきた活火山です。その中でも溶岩流を大量に流出させた貞観噴火と広範囲に火山灰を積もらせた宝永噴火の2回、大噴火をしています。特に宝永噴火では、広範囲に火山灰が降ったことにより、首都圏にも大きな被害をもたらしたそうです。

とてもきれいな富士山ですが、ひとたび噴火すれば、大きな被害がでます。また、噴火の間隔は不規則であり、その規模も現時点では予測できないそうです。災害はいつどこで起こるかわかりません。

日ごろから、地域住民同士で連携し、訓練を実施するなど、しっかりと備えておくことの重要性を改めて感じました。





社会福祉法人 とねの会

とねの会こども園

〒348-0056 埼玉県羽生市大字上川俣87
tel:(048)561-6200 fax:(048)561-6605
☎ tone@tonenokai.com ☑ http://www.tonenokai.com



とねの会こども園

職員募集中



とねの会 🔍 検索



四季の中で
五感を育む

自治会長のスキルアップ研修 会が開催されました

新郷13区自治会長 関口 清

新型コロナウイルスにより自治会連合会での研修等も中止となっていました。令和4年10月4日(火)に自治会長のスキルアップを図るための研修会が2年ぶりに市民プラザにて開催されました。研修会では、地域振興課職員から今年度改訂された自治会活動ハンドブックについて説明を受けました。

近年、住民の自治意識が希薄化し、地域の結束力が弱まってきています。自治会の活動を行う中でも、困難を感じる場合があります。

しかし、少子高齢化が進む中、一人暮らしの高齢者の増加などにより、個人や家族だけで解決出来ない問題が増えており、自治会の役割の重要性は増してきています。「いざという時に支えあう人がいる」「自分たちの町は自分たちで守る」そんな一つ一つの積み重ねが、住民の日々の暮らしの安心につながっているのだと思います。

自治会の運営をより円滑にし、多くの住民の理解と参加を得ながら、活動をしていくためには「規約・役員・会議・予算・事業計画・情報発信や共有」などの柱があり、それぞれの必要性を改めて感じました。

今後このハンドブックを熟知した

資料作成のもと、地域の皆さまが明るい環境づくりに務め自治会活動の更なる発展に貢献して行く必要があると感じたスキルアップ研修会でした。



スキルアップ研修会

交通事故ゼロの羽生市を願って

羽生警察署

令和4年中、市内で発生した人身交通事故は前年と比べ大きく減少しており、交通死亡事故は令和3年7月を最後に発生していません。

これは、羽生市役所をはじめ、交通関係団体の皆さまと市民の皆さまの協力のおかげです。

羽生警察署では、「こどもと高齢者の交通事故防止」をスローガンに各種取り組みを強力に推進しています。

特に、通学路や生活道路での速度抑

制を目的として、可搬式オービスの運用を強化しています。

速度超過は、交通事故発生時に重大な結果を招く原因となるので、車両運転手の皆さまは車の速度調整を心掛けてください。

また、県警では「横断歩道における歩行者優先」を車両の運転手のみならず、歩行者の皆さまにも呼び掛けています。運転手の皆さまも歩行者の皆さまも、横断歩道は安全に横断しましょう。

交通ルールは、年齢問わず道路上に居る誰もが守らなくてはならないルールです。

交通死亡事故ゼロの羽生市を願って皆さまのご協力をお願いします。



通学路において交通違反を監視する可搬式オービス

体育着、イベント・オリジナルグッズ承ります。
お気軽にお問い合わせください！



阿部被服株式会社

OLEES。 〒348-0022 埼玉県羽生市下手子林1092

<http://abehifuku.hiho.jp/> TEL:048-565-3161



SINCE 1953

TRENDY



エプロンおよびアパレル製品の企画・製造・販売

株式会社トレンディー

<http://www.trendy-1953.co.jp/>

〒348-0004 埼玉県羽生市大字勢助907
TEL:048-565-3001 FAX:048-565-2642



令和4年度 各地域の自治会活動紹介

今年度もコロナ禍で地域活動が思うように進められませんでした。それでも地域のコミュニティを維持する為に創意工夫しながら活動した一遍をご紹介します。

●子供神輿の開催と喜右工門新田自治会だよりを発行

喜右工門新田自治会長 林 明

○子供神輿の開催

3年ぶりに子供神輿を開催しました。

例年は山車を引いて町内全域を巡回しますが、規模を縮小し、八幡神社の境内を掛け声なしで練り歩きました。久々に子どもたちの笑顔が見られ、良い思い出ができました。



場 所 喜右工門新田 八幡神社
参加者 大人：35名・子ども：17名



7月の猛暑にも負けない気持ちで
神輿を担ぎました。

○喜右工門新田自治会だよりを発行

地区情報として自治会だよりを発行しています。

コロナ禍で集会等の情報発信の場が無くなり、大事な情報を自治会だよりにまとめて周知しています。

原稿の内容は、毎月1回開催の評議員会で検討して記事を作成しています。文字での説明よりも写真を大きく入れることで、内容がわかりやすくなるように工夫しています。

これからも見やすくわかりやすい紙面をつくり、情報伝達をしていきたいと思ひます。



特定非営利活動法人
色えんぴつ
障がい者福祉施設

☆新たに下川崎に「色えんぴつ 道」がオープン！

生活介護 「障がいをお持ちの方が日中通う場所」
・色えんぴつ ・色えんぴつ 道

共同生活援助 「障がいをお持ちの方が夜間生活する場所」
・色えんぴつ 空 ・色えんぴつ 海

パート職員も募集しています。ホームページ見てね

羽生上下水道指定店
農機具販売

(有)賀山工業

羽生市今泉 790
☎(048) 565-2844

有料広告大募集

羽生市自治会連合会だよりで、あなたのお店や会社をPRしませんか！

●花をいっぱい咲かせて松並木通りを通る人たちを癒したい

新郷13区自治会長 関口 清

令和4年7月24日(日)に地区の皆さまと松並木通りにある花壇の除草・花の植え替え作業を行いました。

新型コロナウイルスの影響で先が見えず暗くなりがちの中で、この松並木の前を通る人やドライバーの方の気分が少しでも明るくなるようにとの思いを込めながら作業を行いました。

暑い中でしたが、多くの方に参加いただき作業をスムーズに進めることができました。

花壇もきれいになり、元気いっぱいに咲いている花を見ると除草作業をした私たちもとても清々しい気持ちになりました。

少しでも早い新型コロナウイルスの収束を願いながら、これからも地区の皆さまと協力し、自治会の活動を行っていきたいと思います。



花壇の除草



花の植え替え

●大天白神社の大しめ縄づくり

大和町自治会長 桑子 安司

令和4年12月24日(土)、小雪舞う空模様の中、地域の氏神である「大天白神社」の大しめ縄づくりが行われました。

しめ縄は、稲の藁(わら)をしめ縄にして神前に奉納し、豊作への感謝と祈りを捧げるものといわれています。

昨年の5月27日(金)に「田植え」が、そして稲穂が出る前の8月17日(水)に「稲刈り」が行われ、天日干しと陰干しを経てしめ縄用のわらが出来上がりました。

当日は、町内役員19人が6本の大縄づくり、そして出来上がった大縄3本を右に回しながら左に巻いていく作業を、寒さをものともせず取り組み、無事に2本の「大しめ縄」が完成しました。

地域の安全と繁栄、そしてコロナ禍が一日も早く収束するよう願いを込めて、鳥居と拝殿の2か所に「大しめ縄」が奉納されました。



完成した大しめ縄

大型家具センター[大駐車場完備]
羽生丸広家具
 営業時間 AM10:00~PM8:00(年中無休)
 羽生市東4-1-9 ☎048(561)3433

晴菊 HAREGIKU **絡藻** むじなも

 お酒は20歳になってから。最新情報はこちらから→
 株式会社 東亜酒造 埼玉県羽生市西4丁目1-11

有料広告大募集

羽生市自治会連合会だよりで、あなたのお店や会社をPRしませんか！

●豊武神社と観音堂の秋祭り・合同祭

下手子林(上)自治会長 杉山 吉雄

豊武神社、観音堂の秋祭りは、9月の第2土曜日に執り行います。各地区の自治会より選出された役員、豊武神社氏子総代、観音堂信徒総代にて運営しています。

神社の儀式終了後に行われる獅子舞は、(入場する前、豊武神社前、観音堂前、広場)4回行います。獅子舞は霧島新陰流の棒使いを竹田耕地の人たちが担い、獅子舞は笹良耕地の人たちが担っています。

さらに手子林音頭の会の皆さまやあっぱれ手子林、小・中学生の皆さまの踊りが祭りを盛り上げてくれています。



霧島新陰流の棒使い



獅子舞



あっぱれ手子林



手子林音頭の会

「当社(豊武神社)は下手子林・上手子林・神戸・町屋の4地区内に祀られていた23社の神社を政府の神社合祀政策により手子林村大字下手子林字合羽959番地の地へことごとく移転合祀して創建され、社号を豊武神社とした。合祀は明治44年3月2日からはじめられ合祀の終了した大正2年4月15日には盛大な遷座祭が斎行された。観音堂は手子林地区の高台、観音山に鎮座する。」(『埼玉の神社 入間 北埼玉 秩父』、p998豊武神社[かんのんさま]より一部引用)観音堂の歴史は古く平成29年4月吉日に観音堂の仏像の大修理が完了し開眼式を行いました。観音様の社の台に製作年号表示の天明との記載がありました。年号表示は1800年代です。修理以前の観音様の社は200年以上経過していたこととなります。



豊武神社



観音堂

新春1月未来元町が拡大オープン!
リハトレ3時間で楽しく元気アップしませんか!

リハビリ・フィットネス型 **無料体験受付中!**

NEW

デイサービス未来元町
体験歓迎です・お電話は下記へ!

✉ mirai@e-kagu.jp

NEW

デイサービス未来元町
☎ 048-598-6016

羽生市南2-4-9
営業日: 月~金、
午前・午後各3時間

送迎無料

介護施設 **ルミエール**

★ショートステイ ★グループホーム
★デイサービス ★小規模多機能型居宅介護
★ヘルパーステーション(訪問介護) ★ケアプランセンター

どんなことでもご相談ください。親切・丁寧にご対応致します。

お申し込み・お問い合わせ
TEL 048-580-7560 (代)
FAX 048-562-7878
〒348-0044 羽生市大字上岩瀬1806

有料広告大募集

羽生市自治会連合会だよりで、あなたのお店や会社をPRしませんか!

●第18回むじなもん学寮inかわまた

本川俣東自治会長 青柳 伸治

昨年7月3日(日)に第18回むじなもん学寮inかわまたが開催されました。本会は川俣小学校の4、5、6年生を対象に希望者を募り、年齢の異なる子どもたちがふれあいの中でコミュニケーションを通して人間関係を深め『生きる力(活きる)』を育むことを目的としています。

主催は羽生市『むじなもん学寮inかわまた』実行委員会及び川俣公民館で、川俣小学校、川俣地区自治会等川俣地区各種団体の協力、支援のもと開催されています。本来は公民館での宿泊、通学を前提に計画されますが、新型コロナの影響で開催可否自体が検討されましたが、対策を取りながらこの2年間は宿泊での密を避け日曜のみの日帰り開催という形で実施出来ました。

開催当日は市役所地域振興課の皆さまによる防災に対するクイズと講話や段ボールベッド組み立ての経験を通し防災に対する認識を深め、また、青竹を使った工作、レクリエーションやキャンプファイヤーを通し団体行動やコミュニケーション力を培う等の体験をしました。第18回目も関係各位のご協力のもと事故もなく無事終了し、何より参加した子どもたちが大変喜んでほぼ全員の感想文にその旨が書かれていた事には大変嬉しく思いました。今後も続けていきたい行事です。



防災クイズと講話



段ボールベッド作り



キャンプファイヤーとゲーム



青竹コップづくり

基礎工事、外構工事、解体工事、曳家工事

地域を結ぶ総合建設

(有)卯ノ木土建工業

TEL・FAX 048-565-0280

給排水・電気設備工事

三起総合設備株式会社

〒348-0041 羽生市上新郷1565

TEL **048-594-9123**

FAX **048-594-9113**



有料広告大募集

羽生市自治会連合会だよりで、あなたのお店や会社をPRしませんか！

自治会連合会の 委員会活動について

自治会連合会では、次の委員会活動により、自治会を取り巻くさまざまな課題の解決に向けて取り組んでいます。

総務委員会

委員長 小久保 光雄

当委員会は、自治会活動の活性化および円滑化を図り、自治会が抱える諸問題の検討や自治会加入率の向上に関することを趣旨として、テーマを決めて協議しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止としておりました、自治会長のスキルアップ研修会や視察研修会を開催することができました。

10月初旬に開催された自治会長のスキルアップ研修会では、今年度5月に改訂した自治会活動ハンドブックを使った研修会を企画し、自治会の活動内容について説明を受けました。

11月中旬には、視察研修会の一環として、山梨県富士山科学研究所を訪問し、「富士山の噴火と関東地方への影響」について専門家である研究員に講演いただき、活火山である

富士山の噴火や羽生市の想定される影響など勉強いたしました。富士山はいつ噴火してもおかしくないということなので、改めて防災について考えさせられる内容でした。

また、「自治会が抱える諸問題の検討や自治会加入率の向上に関すること」について、調査をするため全自治会向けにアンケート調査を実施し、各地区が抱えている課題の抽出を行いました。これらのアンケート調査をもとに、出てきた課題について、改善していきたいと考えております。

今後当委員会は、よりよい地域づくりのために諸問題に取り組んでまいりますので、皆さまのご協力よろしくお願い申し上げます。

自主防災推進委員会

委員長 野中 孝一

当委員会では、地域防災力の向上を目的とし、自主防災組織による防災訓練および防災知識普及を推進すること、災害被害を最小限に抑止できることを願っております。

令和4年度は、過去2年間と比べ、新型コロナウイルス禍で制限しての活動であった各自主防災組織での防災訓練等の活動が徐々に再開されてきております。

そのような状況の中、当委員会では

は今年度は次の取り組みを実施いたしました。

一、避難完了(無事)を知らせる掲示の検討

安否確認を円滑に行えるようにするため、避難完了または家族等の無事が確認できた際に自主防災組織ごとに黄色い旗や白い布を統一して玄関等に掲出する取り組みの検討と情報共有を行い、一部、自主防災組織の訓練で取り入れました。

二、自主防災リーダー養成講座の実施

埼玉県自主防災リーダー養成指導員であり、埼玉県防災士会副理事長である小林俊尋様を講師としてお招きし、災害図上訓練(DIG訓練)を実施いたしました。

三、避難所開設訓練への協力

村君、手子林、岩瀬、須影の4地区で実施された避難所開設訓練に各地区の自主防災推進委員が参加をし、感染症対策に配慮した資機材の組み立て体験や避難所の区割り確認等を行いました。今年度で市内9地区すべてにおいて避難所開設訓練を実施することができました。

当委員会では、今後不測の災害に備え住民が積極的に防災訓練に参加できますよう企画・提案に取り組んでまいります。



編集後記

第19号の発行にあたりご協力をいただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。

この会報を通じ、市民の皆さまが各地域の自治会活動に興味を持ち、それぞれの地域のよさを広く知っていただくことで、さらによりよい自治会活動の一助となれば幸いです。

今後より親しみやすい自治会連だよりを目指し、工夫を凝らしながら紙面の作成をしておりますので、よろしく願います。

今年もよろしく願います。
自治連だより編集委員会